

Abstract of Japanese Utility Model

- (11) Publication number: 3054908
(43) Date of publication: 9.30.1998
5 (21) Application number: 10-5334
(22) Date of filing: 6.12.1998
(71) Applicant: K&S CO., LTD.
(72) Inventor: Kiyoichi Sugaki
- 10 (54) Simple Duct for Rear Seat
(57) Abstract

15 Attachment A is set to a front outlet of vehicle air conditioning device. Extension duct hose B is connected to the attachment A, and attached to an appropriate place on the vehicle. Device C is provided on the end of the duct hose B to control opening thereof from close to full open.

BEST AVAILABLE COPY

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3054908号

(45) 発行日 平成10年(1998)12月22日

(24) 登録日 平成10年(1998) 9月30日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

B 6 0 H 1/00

1 0 2

B 6 0 H 1/00

1 0 2 V

1/34

1/34

D

A

評価書の請求 未請求 請求項の数1 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号

実願平10-5334

(22) 出願日

平成10年(1998) 6月12日

(73) 実用新案権者 591240560

株式会社ケイアンドエス

愛知県名古屋市中区大須4丁目14番48号

(72) 考案者 菅木 紀代一

名古屋市中区大須三丁目14番55号 ネオハ

イツ大須708

(54) 【考案の名称】 後部席用簡易ダクト

(57) 【要約】

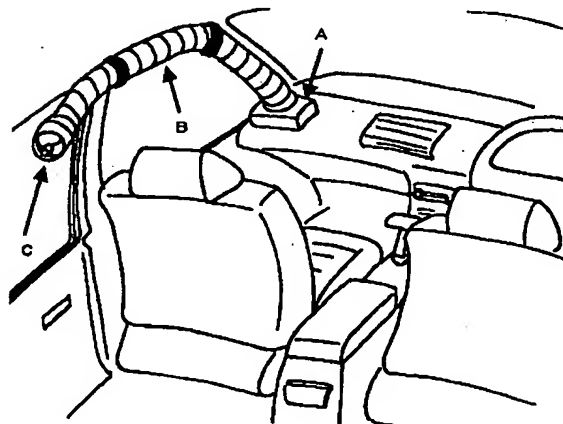
【目的】 後部席にエアコン噴出口が無い自動車でも、大掛りな装置を必要とせず、後部席乗員が自由にエアコンの風を調整できるようにすることである。

【構成】 1. 多くの自動車にある前部席用エアコン噴出口にアタッチメントAを取り付ける。

2. アタッチメントAに延長ダクトホースBを取り付ける。

3. ダクトホースBを自動車内部の適当な場所に設置する。

4. ダクトホースBの先端部に閉止から全開まで風量を調節する機構Cを設置する。



BEST AVAILABLE COPY

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】 自動車のフロント側エアコン噴出口に取り付け、後部席まで噴出口を延長し、先端部に風量を閉止から全開まで調節する機構を設置したダクトホース

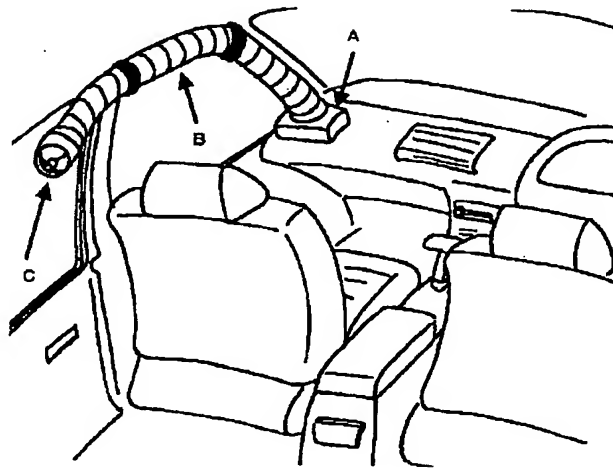
【図面の簡単な説明】

【図 1】 後部席用簡易ダクトの設置例

【符号の説明】

- A 前部席用エアコン噴出口に取り付けるアタッチメント
B エアコン噴出口を延長するダクトホース
C 風量を閉止から全開まで調節する機構部分

【図 1】



BEST AVAILABLE COPY

【考案の詳細な説明】**【産業上の利用分野】**

本考案は、自動車の冷暖房、および換気に関するものである。

【従来の技術】

近年の自動車のほとんどに、エアコンが付いているが、後部席の乗員が直接風量を調整できる噴出口がない場合がほとんどである。

夏では、後部席の乗員が冷房の風を直接受けられないばかりか、冷房が不足と感じても量を調整できないため、非常に不自由である。

ごく少数の高級車の後部席にエアコン噴出口が設置してあるが、エアコンが複数必要であったり、内装を特別に用意しなければならなかった。

したがって、後部席にエアコン噴出口が無い自動車に、後から噴出口を設置しようと思うと大幅な改造が必要なため、不可能だったり、非常に高額になるため、現実的ではなかった。

【考案が解決しようとする課題】

本考案が解決しようとする課題は、後部席にエアコン噴出口が無い自動車でも、大掛りな装置を必要とせず、後部席乗員が自由にエアコンの風を調節できるようにすることである。

【課題を解決するための手段】

1. 多くの自動車にある前部席用エアコン噴出口にアタッチメントAを取り付ける。
2. アタッチメントAに延長ダクトホースBを取り付ける。
3. ダクトホースBを自動車内部の適当な場所に設置する。
4. ダクトホースBの先端部に風量を閉止から全開まで調節する機構Cを設置する。

【作用】

エアコンの噴出口から出た冷気（暖気や外気を含む）は、ダクトホースBを通り後部席まで直接届く。

しかも、後部席乗員が風量を自由に調整できるので、非常に便利である。

【実施例】

風量を調節する機構Cに風向きを調整する機構を付けることで、後部席乗員がより快適になる。

【考案の効果】

本考案を採用することで、後部席用にエアコンを増設したり、大幅な改造を施さなくても、それと同様の効果が得られる。

特に、タクシーなど、頻繁に後部席に座る乗客が変わる場合、それぞれの好みに応じたエアコンの風量を乗客が自由に調整、または、停止することができ、乗客にとって非常に快適になる。